

くまの議会だより



令和7年
9月定例会

筆の都くまの



熊野町観光大使 ふでりん

主な内容

- 令和6年度決算を認定
- ズバリ町政を問う!
- 頑張れ部活!!

第136号
2025.11.1

熊野町議会のホームページから、本会議の会議録や議会中継をご覧ください

発行 ○ 熊野町議会 〒731-4292 広島県安芸郡熊野町中溝一丁目1番1号 TEL(082)320-5630 FAX(082)355-4520
議会の情報は、熊野町ホームページから。 <http://www.town.kumano.hiroshima.jp> E-mail:gikai@town.kumano.lg.jp

編集 ● 議会広報特別委員会

9月定例会 議案審議

会期
9月2日～9月12日

①決まった議案など

● 町長提出案件・・・9件 ● 報告・・・3件

全ての議案を全会一致で可決しました。

②一般質問 3人の議員が町政の課題などについて質しました。^{ただ}

補正予算

令和7年度 一般会計補正予算(第1号)を可決
計 1億4,311万円の増額 総額121億2,265万円に

主な事業

介護保険一般事業

補正予算額：623万円

介護保険事業所に対する原油価格・物価高騰等総合緊急対策支援金など

Q 養護老人ホームも対象になっているか。

A 対象になっている。

防犯対策事業

補正予算額：644万円

家庭用防犯カメラ等設置補助金



小学校大規模改造事業

補正予算額：△1,500万円

第三小学校南校舎改築実施設計業務に係る不用額(△2,600万円)、体育館に空調整備をするための実施設計業務の予算1,100万円)

Q 不用額が多いが理由は

A 当初、仮設校舎を建築する予算を計上していたが、仮設校舎不要の工法を採用したため、それに伴う設計・建設業務を省略した。

児童福祉施設入所委託事業

補正予算額：857万円

母子自立支援施設入所委託料の増

Q 入所増という事だが現在何世帯入所しているか

A 令和6年度末で2世帯、令和7年度に新たに2世帯増えた。



熊野町議会及び熊野町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案を可決

公職選挙法施行令の一部改正により限度額を引き上げます。

選挙用ビラの作成一枚あたり
7円73銭 → 8円38銭

選挙用ポスター作成一枚あたり
541円31銭 → 586円88銭



施行期日 公布の日（令和7年9月2日）

令和8年3月末に熊野中出張所が廃止されます

町内3箇所に設置している出張所について、マイナンバーカードによるコンビニ交付の普及等に伴い、出張所の利用率が低下していることから、順次廃止されます。

●証明書等の交付状況

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
役場本庁舎	17,521	83.3%	16,333	76.1%	17,295	76.1%
中出張所 (中央ふれあい館内)	157	0.7%	112	0.5%	109	0.5%
西出張所 (西防災交流センター内)	759	3.6%	690	3.2%	552	2.4%
東出張所 (東防災交流センター内)	111	0.5%	101	0.5%	101	0.4%
コンビニ	2,490	11.9%	4,224	19.7%	4,682	20.6%
総 数	21,038	100%	21,460	100%	22,739	100%



Q 廃止の周知はどのようにしていくのか

A 出張所に掲示すると共に出張所利用者にチラシを配る

（各ページの数値については表記単位未満を四捨五入しています）

令和6年度決算を認定!

9月定例会において提案された令和6年度各会計決算は、9月3日・4日の2日間にわたり決算特別委員会において審査され、9月4日の本会議で全会計とも認定されました。

(単位：千円)

	歳入総額	歳出総額
一 般 会 計	10,656,882	10,463,700
国民健康保険特別会計	2,196,472	2,190,252
後期高齢者医療特別会計	975,369	962,955
介護保険特別会計	2,409,926	2,388,199
下水道事業会計	961,442	1,105,216
合 計	17,200,090	17,110,321

■決算審査Q & A

地域おこし協力隊について



Q 都市から地方に移住し、地域ブランドの開発、農林水産業や地場産業への従事、住民支援などの地域協力活動を行う地域おこし協力隊。本町での採用は初めての試みであるが、隊員の任期が最大3年のところ、残念ながら1年足らずで退職された。その原因は。

A 町としては熊野筆のほか新しい観光交流施設など町内の観光資源全体の情報発信を任務として採用したが、隊員は筆づくりの伝統的な技法や所作についての発信に特化した活動を望み、任務の遂行が困難になった。町の期待と隊員の思い違いが原因と認識している。

Q 費用対効果はあったか。

A 熊野筆の伝統工芸士の技を紹介するInstagramの閲覧件数が8万5千件あるなど、一定の効果があったと考えている。

ごみの排出量について



Q 1日の1人あたりごみの排出量が前年度と比較して2減少しているが、原因は。また、コロナ禍前と比較してごみの排出量は減少しているか。

A 「可燃ごみ」の排出量がコロナ禍の令和2～3年にピークであったが、現在はコロナ禍前の量に戻っている。自宅で生活する時間が伸びたことが排出量増加の要因であると考えている。

Q 環境事務所へ直接搬入する「直接ごみ」だけ増加しているが、原因は。

A 環境事務所への搬入日が平日に加え、第2土曜日と第4日曜日も可能であることを周知したことが要因の1つである。また、最近増えた「実家じまい」による大型ごみやリチウムイオン電池の直接搬入も増えている。

一般会計104億6,370万円の使い道と成果は？

ひきこもり家庭と生活困窮支援について



Q ひきこもりのいる家庭で生活が困窮している世帯の把握と支援はできているか。

A 地域住民等からの情報や、地域包括支援センター、子育て支援センターによる訪問活動等で把握し、生活保護など必要な支援に努めている。

介護保険事業について



Q 国が3年ごとに行う介護報酬改定で昨年度、訪問介護サービスの単価（基本報酬）が引き下げられたことにより、サービス提供事業者は減収と人材不足で大変苦慮しているというが、町は事業者からそのような声を聞いているか。

A 町内の事業者からは、特に聞いていない。

若年層の定住促進について



Q 住宅の新築又は中古住宅の購入に対する助成金である、子育て世代「住むならくまの」応援助成金の周知方法は。

A 本町への転入手続時に窓口で職員が直接制度を説明している。中古物件の購入者についても同様の案内をおこなっている。

学校医の確保について



Q 新聞報道で小中学校の健康診断を行う学校医の確保が困難になっているとあったが、本町の状況はどうか。

A 現在、学校医15人、学校歯科医6人、学校薬剤師6人の合計27人で運営しているが、耳鼻科医が少し不足気味である。日程調整は教育委員会が学校医と直接行っている。

（各ページの数値については表記単位未満を四捨五入しています）

ずいばり 町政を問う!

一般質問とは?

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を^{ただ}質したり政策を提案することを一般質問といいます。

発言時間は答弁を含め、1人60分以内としています。

ページ	質問者	質問事項
7	藤本健太 議員	1. 保育士の確保は 2. 伝統工芸士に対する補助、協力体制は
8	沖田ゆかり 議員	1. 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成拡大を 2. 子どもたちへの熱中症対策を
9	水原耕一 議員	1. 住民のニーズにあった公園づくりを 2. スポーツがしやすい環境づくりはできているか

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいています。

また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。

なお、熊野町議会のホームページ(<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

Q 保育士の確保は

A 健康福祉部長

各補助金、新規雇用保育士等に係る給付金を活用し、早期確保を図る。



録画映像



藤本 健太 議員

【Q 1】

現在の待機児童の人数は。また、その対策は。

【A 1】

8月1日現在で29人。施設整備をして利用定員を増加する対策を取っている。これでも、保育ニーズは利用定員を超過すると見込んでいる。

【Q 2】

対策が不十分であると聞こえるが。

【A 2】

施設整備を実施しても、利用定員を超えての入所状況になる見込みであり、待機児童が出る可能性が高い状況には変わりはない。引き続き、各保育施設との連携、及び低年齢人口の動向を注視して対応していく。

【Q 3】

誰でも通園制度に対する対応は。

【A 3】

事業開始にむけて現在準備を進めている。

【Q 4】

本町の5歳児健診に対する対応は。

【A 4】

国から令和10年度までに全国の自治体での実施を求められている。保育所、認定こども園、教育委員会など関係機関と連携を図りながら、早期に実施できるよう取り組む。

【Q 5】

なぜ、すぐに実施することができないのか。

【A 5】

小児科医及び心理士等の専門職の確保が困難であり、また医療・福祉・教育等との連携によるフォローアップ体制の構築ができていないことから、実施ができていない。

Q 伝統工芸士に対する補助、協力体制は

A 企画担当部長

筆組合を通じて伝統工芸士の技術継承や魅力発信を支援する。

【Q 1】

現在の本町の伝統工芸士の人数は。また、人数の推移は。

【A 1】

現在は11名。平成26年の25名が最多で平成30年から減少傾向が続いてきた。

【Q 2】

最大時の半数以下となっているが、減少の理由の聞き取りはできているか。

【A 2】

年齢を理由に伝統工芸士の資格を返される方や、亡くなられた方が増えるなか、新たな伝統工芸士が生まれていないことが、減少の理由。

また、関係者からは、伝統工芸士の認定取得に魅力を感じられないと聞いている。

【Q 3】

伝統工芸士の魅力について広く知ってもら

う取り組みも必要なのではないかと感じるが。

【A 3】

伝統工芸士一人ひとりの技術や思い、魅力を伝える冊子を筆組合が作成している。

また、同冊子の英語版をホームページに掲載したり、インスタグラムを使って伝統工芸士の技を紹介するサイトを立ち上げるなど、国内外に向けて伝統工芸士に興味を持ってもらうための取り組みを行っている。

【Q 4】

減っている原因に対し、町として何か対策を考えているのか。

【A 4】

町だけで伝統工芸士の確保に向けた対策を実施することは困難であるが、伝統工芸士を所管する筆組合と連携しながら組合が取り組まれる事業に対し引き続き支援を行っている。



沖田 ゆかり 議員



録画映像

Q 带状疱疹ワクチン接種費用の助成拡大を

A 町 長

近隣市町の動向に注視し取り組んでいく。

【Q 1】

熊野町では生ワクチン（接種後5年時点で4割程度の予防効果）が4,900円、組換えワクチン（接種後10年時点で7割程度の予防効果）が18,100円の自己負担となっているが、呉市では生ワクチンが3,000円、組換えワクチンが7,000円、坂町では生ワクチンが2,600円、組換えワクチンが6,600円の自己負担となっている。町民からは呉市や坂町のように自己負担を減額してほしいとの声があるが。

【A 1】

近隣の同規模自治体と同額としている。助成額について今後は町村会で国・県に要望していく。

【Q 2】

広島市と同額であるが、自治体規模が違う

ため、町民が納得できるとは思えないが。

【A 2】

生活圏域と医療圏域が同等のため同額としている。

【Q 3】

定期接種では対象年齢が65歳からの5歳刻みになっており、対象から外れた町民のために来年度だけでも町独自で助成していただけないか。海田町では本年度実施されているが。町長の考えを伺う。

【A 3】

検討する。



Q 子どもたちへの熱中症対策を

A 教育長

子どもたちの安全のため進めていく。

【Q 1】

登下校時の熱中症対策については、他県では部活動後の下校中に倒れ救急搬送され死亡した事例もあり、夏休み明けなどの身体が暑さに慣れていない時期は特に留意していただきたいが。

【A 1】

部活動中の水分補給や下校時の指導を徹底していく。

【Q 2】

昨年9月議会において体育館へのエアコン設置を要望したが。

【A 2】

令和8年度に中学校の体育館へ設置、令和9年度以降に小学校の体育館、中学校の格技場へ設置していく。

【Q 3】

第二小学校の書写室や熊野東中学校の美術室にはエアコンが設置されていない。全国書画展を開催している熊野町では、優先して設置するべきではないか。

【A 3】

各学校と連携を図りながら、総合的に判断し進めていく。



▲ 輻射式冷暖房を設置している体育館

Q 住民のニーズにあった公園づくりを

A 町 長

筆の里工房周辺の公園整備の推進や既存公園保全維持に努める。



録画映像



水原 耕一 議員

【Q 1】

川角地区にある西部ふれあい広場には、バスケットゴールがあり大変人気だ。他の公園にも設置できないか。

【A 1】

要望が多ければ場所等も併せて考えていく。

【Q 2】

障がいをもたれている方も自由に遊べる遊具（インクルーシブ遊具）の設置はできないか。

また、障がいをもたれている方だけで遊べる日インクルーシブ公園 day への取り組みもお願いしたい。

【A 2】

現在工事を進めている「筆の里工房周辺事業」の遊具計画の中にそのようなエリアを設

けたい。インクルーシブ公園 day についても今後考えていきたい。

【Q 3】

ベンチに屋根がない公園がある。炎天下の中、休憩するのに必要だと思うが、整備できないか。

【A 3】

要望があれば現地を確認し可能であれば、遮光シート等に対応していく。



Q スポーツがしやすい環境づくりはできているか

A 教育部長

指定管理者と連携を図りながら行っていく。

【Q 1】

町民体育館のエアコンは24℃に設定しているらしいが、湿度の管理も行っているか。

また、温度計、湿度計を住民が見える位置に設置して、熱中症対策に努めてほしいが。

【A 1】

空調設備には除湿機能もついているので活用していく。温度計、湿度計も見える位置に設置する。

【Q 2】

エアコンの使用期間は6月から9月だが、今年の暑さを考えると10月もエアコンの使用が必要になってくるのではないか。

【A 2】

10月のエアコン使用については状況を見ながら検討する。

【Q 3】

町民グラウンドの利用開始時間が8時半からだが、準備等するため早めてほしいとの声があるが。

【A 3】

職員の労働時間に問題が生じる。前日に準備するなどしていただきたい。

【Q 4】

それならば、前日に鍵を借りて翌日早めの準備を行ってもいいのではないか。

【A 4】

職員がいなければ管理上問題がある。協議していく。



令和6・7年度の主要事業をチェック

総務建設委員会

7月18日、所管事務調査の一環として本委員会を開催し、町執行部（総務部・住民生活部・建設農林部）から「令和6年度主要事業の実績」、「令和7年度主要事業計画」について説明を受け、質疑を行いました。

また、本委員会の今年度活動計画の策定と重点調査項目を決定しました。

重点調査項目

今年度整備が始まった観光交流施設の「筆の里工房周辺整備事業」と人口減少時代のなか本町が取り組むべき「移住・定住対策」を重点調査項目に決定しました。

町執行部への政策提言に向け、今後、現地調査、先進地調査等の活動を行います。



工事が始まった観光交流施設
(筆の里工房周辺整備事業)

文教福祉委員会

7月8日に令和6年度主要事業実績並びに、令和7年度主要事業計画の概要等について教育部・健康福祉部からそれぞれ報告、説明を受け活発な意見交換、質疑を行いました。

また、本委員会の年間活動計画を策定し重点調査項目を決定しました。

重点調査項目

令和7年度は教育部関連で「みんないく（睡眠教育）」、健康福祉部関連で「介護予防」を重要調査項目に決定しました。

それぞれの項目が本町に寄与できるよう調査し、町執行部へ提言できるよう活動をしていきます。



※みんないくとは・・・

子どもの睡眠を中心とする生活習慣を改善し、心身の健康を増進させ不登校をはじめとする子どもの課題を改善する教育のこと。

話し方・コミュニケーション術を学ぶ

広島県町議会議員研修会

令和7年8月20日、ホテルメルパルク広島にて、広島県内の町議会議員研修会が行われました。

【演題】

「顔で話せ！相づちで話せ！質問で話せ！

～達人リポーターが伝授する

最強コミュニケーション術」

【講師】

フリーアナウンサー 庄司 麻由里氏



町民のニーズが多様化するなか、議員には、住民の声を聴き、住民の代表としてそれらを施策に反映させることや、町の施策等を住民に分かりやすく伝えることなど、コミュニケーション能力が求められます。コミュニケーションの基本を改めて確認しました。

温かい学校給食が始まりました

令和7年8月28日、熊野中学校で給食試食会が行われました。これまで、多くの町民から温かい給食を希望する声が寄せられ、議員も一般質問等で強く温かい学校給食の開始を訴えてきました。

今後も、児童・生徒への食育に関し、注視してまいります。



▲ 配膳を終え試食



▲ ご飯・主食・副菜・牛乳

頑張れ部活!! 熊野中学校・書道部



【目標】基礎を大切にしながら日々技術の向上を目指す



顧問の佐城恵子先生

～顧問から生徒へ～

毎日コツコツと練習を続けていく中で、少しずつ力がつきます。継続は力なり、時にはうまくいかず苦しい時があると思いますが、諦めず挑戦し続けてください。そしてその力を様々な場面で活かしていってくださいね!!



部長の佐伯優衣さん

～後輩のみんなへ～

1年生は2年生へ、2年生は3年生になり、先輩という立場になりますが、部を引っ張って行けるように頑張ってください。

入部のきっかけ

体験入部で「落ち着いているけどやる気に満ち溢れている空気」を感じ取り私も一緒にやりたいと思った。



題字の揮ごう者石井綾音さん

～題字を書いて～

緊張はしなかったけど「ズバリ町政を問う!」の方が難しく、納得する書になるまで約20枚ぐらい書きました。

入部のきっかけ

みんなが楽しそうでフレンドリーな感じがしたので入部した。

地域の皆様へ

筆、書に対して期待していただいているのをひしひしと感じております。学校内だけでなく、地域でも活躍出来るように活動してまいります。あたたかい応援をよろしくお願いします。

あ と が き

今回は40年以上前に卒業した私の母校・熊中の取材でした。懐かしさもあり、書道部を訪ねるとはじけるような笑顔で迎えてくれたのは9名の部員さんと顧問の佐城先生でした。表紙の写真は先日行われた、くまの町民文化祭的一幕ですが真剣な表情で躍動感にあふれた素晴らしい「書道パフォーマンス」で大変感動しました。この書道パフォーマンスは16年前から行っていますが熊野を代表するアトラクションとしてずっと続けていただきたいと思います。

世 良 将 生

次の定例会は **12月2日(火曜日)**
開会を予定しています



「くまの議会だより」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。